

「食農教育」体験活動

講座コード 231

平成15年6月26日(木)実施

アラカルトコード 07021

第2回報告

ポイントはここだ！育てる！食べる！「食農教育」体験活動（講座コード231）の2回目の講座が6月26日（木）で行われました。

シーズンコースおよびスプリングコースの16名の先生は、午前中から上泉農場で野菜の管理を中心に講義と実習を行いました。天気が不安定な中で開始された訳ですが、講義を行っているうちに霧雨もすっかり上がり、快適に野菜管理をすることができました。

午後からは会場を勢多農林高等学校へ移し、アラカルトコースの13名の先生が加わり、29名でフラワーアレンジメントとガーデニングの実習に汗を流しました。

日 程

<< 午前 >>（上泉農場）

○春まき野菜の栽培管理ポイント
（齋藤裕講師）

<< 午後 >>（勢多農林高等学校）

○フラワーデザインの基礎技術
（須田ゆかり講師）

○春まき草花を活用したガーデニングの基礎技術
（立見康明講師、伊藤浩行講師）

<< 写真 >>
右上：野菜の管理
右下：寄せ植えの説明

<< 写真 >>

下：コサージュ完成



各自製作したコサージュを胸に記念撮影



受講者の声と講座の様子



- フラワーデザインは、苦戦しました。でも仕上がってよかったです。須田先生には、ていねいに教えていただいていたありがとうございます。立見先生 Good! です!! 草花の不思議を感じました。
- コサージュは、卒業式用に時間と費用があれば、実行してみたいなあとと思います。草花の病虫害について、様子や対処法をもう少し例をあげて教えていただけるとよかったです。
- 実際にやってみると、難しかったが、楽しかった(フラワーデザイン)。かなり大胆にカットすることが分かった切り戻し(ガーデニング)。やはり「自分の手でやる」ことが大切であると感じました。
- 実習を中心とした研修で、実際に役立つことが多かったように思います。学校の花壇で栽培する際にも大変参考(肥料の話、切り戻しの話など)になりました。美しいコサージュもできうれしかったです。ありがとうございます。
- フラワーデザインでは、受講者数が多くて、講師の先生の説明がわかりずらかった。全体の説明の後、個人的に質問するとすぐ理解できた。とても楽しい研修だった。

○はシーズンコースの受講者、●はアラカルトコースの受講者の感想です。

- 午前中は実際にナスやキュウリの枝を切りながら、手入れの仕方を学ぶことができたので、よくわかりました。午後のフラワーデザインも、思っていたより簡単にできて楽しかったです(少し忙しかったです)。ガーデニングについては、花を切ってあげると、また花が咲くなどのポイントがわかりました。本当に、実際にやりながらの学習は、わかりやすいです。
- 楽しかったです。野菜が大きくなっていたのが、とてもうれしかったです。これからが楽しみな反面、病虫害や草が心配です。
- 普段できないことを実際に体験することができ、ためになったし、楽しかったです。学級園の野菜の状況などを相談でき、よかったです。
- フラワーアレンジは、ぜひ作ってみたいと思っていたので体験できて、とてもうれしかったです。卒業式には、ぜひ自作の花をつけて出席したいです。
- フレンドリーファームが、あっという間にジャングル状態で、これから暑くなると、週1回でも足りないかなと思うので、今後がちょっと心配です。前回やったことを学校に戻って話したら、ぜひ来年は参加したいという先生がずいぶんいました。

